

人事労務通信



社会保険労務士事務所
人事労務センター
 〒812-0011
 福岡市博多区博多駅前 4-33-11-702
 ☎ 092-982-4188
 Fax092-982-6170
 Eメール akiko@b-souken.com

ブーゲンビリア



ブーゲンビリアは、夏の季語ともいわれるものですが、夏の猛暑を耐えて、10月の末に色づきました。

原産地は中央

アメリカおよび南アメリカの熱帯雨林で、和名はイカダカズラ（筏葛）、ココノエカズラ（九重葛）と呼ばれています。

被団協にノーベル平和賞 「核なき世界実現へ努力」

ノーベル賞委員会は、2024年のノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）に授与すると発表しました。

このニュースは世界を駆けめぐり、「核兵器のない世界」を願うすべての人々に限りない励ましと勇気を与えています。

日本被団協はアメリカの原爆投下による「この世の地獄」を乗り越えて生きのびた被爆者の皆さんは、その後も後遺症、差別や経済的苦難を強いられ、さらに何の援護もなく放置されました。



しかし、ビキニ水爆実験被災（1954年）を契機に原水爆禁止運動が広がるなか、被爆者は「ふたたび被爆者をつくらぬ」との決意をもって立ち上がり、56年に日本被団協を結成しました。

そして、「自らを救うとともに、私たちの体験をとおして人類の危機を救おうという決意を誓い合った」（結成宣言「世界への挨拶（あいさつ）」）のです。

ノーベル賞委員会のフリードネス委員長は日本被団協への授賞理由として「核兵器のない世界を実現するための努力」と「核兵器が二度と使われてはならないことを目撃証言を通じて示してきたこと」を挙げ、被爆者の地道な努力によって核兵器の使用は道徳的に許されないとする「核のタブー」という国際規範が醸成されたと指摘し、「全ての被爆者に敬意を表したい」と語っています。

国連の中満泉事務次長は、被団協の受賞について「世界に対する強烈なパンチ」だと話しています。

日本被団協の箕牧智之代表委員は「引き続き核兵器廃絶、恒久平和の実現を世界の皆さんに訴えていきたい」と話しています。

「核兵器のない世界」への決意を新たに、世論と運動を飛躍させることが求められています



焼きナスの アゴ出汁浸し

「焼きナスを五島のアゴ出汁浸しにするとおいしいよ」と聞いて、頂き物の五島うどんについていた粉末の“アゴ出汁”をお湯で溶いて試してみました。

アゴ出汁ナス、おいしくいただきました。



人事労務センター

社会保険労務士 大隈昭子

TEL 092-982-4188

FAX 092-982-6170

Eメール：akiko@b-souken.com

社会保険適用拡大って何？

Q&A

Q：10月から社会保険適用の拡大って、少し詳しく教えてください。

A：社会保険制度は、憲法25条の「すべての国民は、健康で文化的な最低限度のせいかつを営む権利を有する」「国はすべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」の定めによって、成立している制度です。

Q：その適用拡大とは、どんなことですか。

A：社会保障制度の中の一つに、社会保険があって、医療保険と公的年金（高齢年金と障害年金）、労災保険、雇用保険、介護保険があります。このうち今回、医療保険と公的年金の強制適用を、労働者数が51人以上の事業所に拡大し、週20時間以上働く方と収入が月額88,000円までの方を強制適用の範囲としました。

Q：強制適用とは、必ず加入しなければならないのですか。

A：そうです。適用拡大の要件に該当する事業所で、要件に該当する方は、加入することが必要です。

Q：強制適用になったら、保険料を払うことになるのですか。

A：そうです。保険料の負担が必要です。そこで、週20時間未満で働くか、88000円未満で働くほうがいいのか、そのため働く時間をセーブしたほうがいいのか、との相談が相次いでいます。

Q：どうしたほうがいいのかですか。

A：適用拡大には、保険料負担で手取りが減ることがありますが、その分将来の受給が増えることとなります。働く時間と収入を抑えて加入しないという選択と、働く時間と収入を増やして働くかは、悩ましい判断ですが、それぞれのライフプランなどからの選択だと思います。

社会保険の適用拡大って何？

生協労連九州地連パート部会の学習会



生協労連九州地連パート部会からお話があって、この10月からの社会保険適用の拡大についてお話しする機会を得ました。

当日は、台風21号から変化した温帯低気圧の影響が残る中、福岡の会場とオンラインで結ぶ九州各地の組合員さん36名とともに、学習を深めました。

テーマに沿ってお話しした後、会場やオンラインのサテライト会場から、次々に熱心な質問があり、活気あふれる学習会になりました。

あとがき

今年あとの2カ月を残すのみとなりました。

「新しい年を迎えるために、ことし1年の取組を反省し、「新たに挑戦出来ることには、どんなことがあるのか？」など、「抱負や展望」をスタッフ皆で忌憚なく語り合い、意見を出し合って、新しい年に向けて、新たな計画を構築しなければと考えています。

でも、まだあと2か月あります。ここでの締めくりが大事なようにも思います。



人事労務センター
ホームページURL
<https://roumu.b-souken.com>